



名立まちづくり協議会 会報

2022年1月25日発行

まち協だより

【新春号】

No. 21



《ワンフォーオール オールフォーワン》

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新しい年も早いものでひと月が過ぎようとしています。昨年は正月明けに 35 年ぶりの大雪に見舞われましたが、今年はこれまでは“いつもの冬”…です。ただ、「雪は 2 月が終わるまではわからんぞ」のように、まだまだ油断大敵ですので、もうしばらくは雪への備えを怠ることなく過ごしていきたいものです。

そして、今年も新型コロナウイルス感染症がいろいろな姿で私たちの前に立ち塞がろうとすのでしよう。そんなときに思い浮かぶのが “One for all, All for one” (“ワンフォーオール オールフォーワン”) という言葉です。これはラグビーを語るときによく使われ、直訳すれば「一人はみんなのために、みんなは一人のために」ですが、本当の意味は「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」で、一つの目的(ラグビーならトライ!)のために全員が役割をしっかりと果たすことが重要だ…と聞いたことがあります。

新型コロナウイルス感染症の収束という“一つの目的のために”、“一人ひとり”が自分の、家族の、そしてみんなの命と暮らしを守る“新しい生活様式”を心がけていきましょう。

昨年、新しい上越市政がスタートしました。

「地域が主役のまちづくりに向け、今年は準備の年」とのことですが、私たちは昨年 3 月に名立まちづくり計画を策定し、『一人ひとりの生命と暮らしを守り、いつでも誰もが安心して暮らせるまちづくり』に向け、すでに動き始めています。今年はこの目的に一步でも近づけるよう、一人ひとりの思いや願いを込めたアクションプランの作成に取り組んでいきたいと考えています。

そして、秋には名立地区公民館との共催で竹田勘兵衛翁生誕 230 周年記念演劇「夢輝いて！」を上演する予定です。竹田用水(川東用水)は竹田勘兵衛翁がいなくては成し得なかった事業でしたが、多くの農民たちの願いや夢があったからこそ完成し、今に引き継がれているのです。

こうした先人たちの歩みに思いを馳せながら、これからの名立のまちづくりをみなさんと一緒に取り組んでいきたいと考えています。

結びに、今年こそみなさんにとって穏やかで明るい一年になりますよう心からお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。

名立まちづくり協議会長 三浦 元二



心安やかに平穏な暮らしを願う

「浦安の舞」

《冬晴れのさいの神》

昨年はお正月明けの大雪で 1 週間延期された赤野俣地区のさいの神でしたが、今年は穏やかな冬晴れに恵まれ、予定どおり 10 日に実施されました。



無病息災、疫病退散、家内安全等々、集まった 60 人ほどのみなさんのありとあらゆる願いを込めて炎が青空の中に燃え上がります。

みなさんの願いや祈りが一つでも多く叶えられるように！

16 日には森・池田・桂谷地区、折平地区、不動地区でも行われる予定(その様子はまち協だより 2 月号に掲載します)のさいの神やお祭りなどの地域行事

や町内行事は人口減少・少子高齢化の進行等に伴い、今後は地域によっては実施が厳しくなっていくことが予想されますが、やはり人が集うところには活気があります。

新型コロナウイルス感染症が早期に収束し、(新年を迎えたばかりなので鬼に笑われてしまうかもしれませんが)来年はもっと多くのみなさんがさいの神に集い、いろんな願いを込めることができるようになればいいですね。



《お雛さま巡り》

今年も名立大町自治会が企画し、名立区住民福祉会、社協名立支所と当会の共催でお雛さま巡りが実施されます。

昨年は名立大町の 5 町内と名立地区公民館、そしてろばた館に 9 組のお雛さまが飾られました。今年はさらに 5 組増えましたので、宝田小学校や名立中学校等でも楽しんでいただけるよう、2 月初めの飾りつけに向けてこれから準備していく予定です。



全 14 組の設置場所が確定しましたらまたお知らせしますので、まち歩きやろばた館での温泉も楽しみながらゆっくりご覧いただければと思います。また、2 月 27 日(日)には「お雛さまウォーキング & ミニコンサート」も予定していますのでこちらも楽しみにお待ちください。

(* 写真は昨年の様子…右上は新町:牛木和幸さん宅、左はろばた館大広間)

《名立まちづくり協議会の NPO 法人化に向けて④ ～「NPO 法人化に向けての今後の流れは？」～》

昨年 10 月から 4 回シリーズで掲載してきた《名立まちづくり協議会の NPO 法人化に向けて》は「①NPO 法人とは?」「②なぜ今、NPO 法人化なのか?」「③NPO 法人化でどう変わる?」と進めてきましたが、今回が最終回の「④NPO 化に向けての今後の流れは?」です。

新潟県のホームページ「特定非営利法人 設立・運営の手引き」の冒頭にはこのように記載されています。

『NPO 法人になるには、団体で法人設立の意思を決定した後、法令に規定されている申請書類を所轄庁に提出して、設立の認証を受けなければなりません』

「団体で法人設立の意志を決定」するためには令和 4 年度の通常総会でご審議いただいた後、最終的には NPO 法人設立総会での承認が必要になるわけですが、その中で会員や代議員、町内会長のみなさんに改めてご説明させていただきたいと考えています。

NPO 法人化が当会の今後のあり方や活動に向けてひとつの転換・節目となることから 4 回にわたり連載してきましたが、ご質問やご意見等がありましたら事務局までお知らせください。



《(仮称)名立のまちづくりフェスタのお知らせ》

昨年度まで名立区住民福祉会と上越市社会福祉協議会名立支所が開催していた福祉フェスタの趣旨を踏襲するとともに、これからのまちづくりについてみんなで考える場にしようと、下記のとおり(仮称)名立のまちづくりフェスタを開催します。

今回は現在各方面で取り組まれている SDGs(「持続可能な開発目標」)を学ぶとともに、その具体的な取り組みや今後のまちづくりについてみんなで考えてみたいと思います。

□と き:3 月 6 日(日)13:30~16:30

□と ころ:名立地区公民館

□内 容:基調講演「SDGs とまちづくり」、事例発表ほか

□主 催:名立区住民福祉会、社協名立支所、名立区総合事務所、名立地区公民館、名立まちづくり協議会

なお、詳細につきましては今後、名立区住民福祉会や当会などからお知らせしますので、ぜひ多くの方の参加をお待ちしています。



令和 2 年 11 月 1 日
福祉フェスタ・若者会議

《ホームページを開設しました！》

当会は名立のまちづくりの中核組織として活動していますが、名立まちづくり計画に掲げられた『一人ひとりの生命と暮らしを守り、いつでも誰もが安心して暮らせるまちづくり』を進めていくためには名立に暮らす一人ひとりのご理解とご協力が必要です。

そこで、まずは当会の活動を広く周知することが必要と考え、令和2年度から本会の広報誌「まち協だより」をカラー印刷に変更し、読みやすさに心がけるとともに、毎月の定期発行としたことに加え、区内の様々なまちづくりに関する取組みや情報などもお知らせしています。

こうした情報提供を常時可能とするとともに、若い世代からも当会の活動やまちづくりに関心を持ってもらえるよう、このたびホームページを開設しました。

まだ“工事中”の部分もありますが、どうぞご覧になってください。

そして、ホームページのご感想や名立のまちづくりに関するご意見などをお聞かせいただければ幸いです。



令和2年6月25日発行

URL: nagatatsu.com 名立まちづくり協議会



不定期ですが、当会の活動のほか、名立のさまざまな情報をお知らせしていきます



《地域支え合い事業》

新年1回目は1月11日のはつらつ健康教室からスタートしました。3週間ぶりの開催でしたが、多くの方からご参加いただき、元気いっぱい体を動かしていました。

また、13日のすこやかサロンでは雪が降り足元の悪いなかではありましたが、参加を楽しみにしてくださっていたみなさんと楽しいひとときを過ごすことができました。

サロンなど社会活動に参加することで冬期間の閉じこもりを予防し、そして人と交流することで脳の刺激になり、認知症の予防にもつながります。

はじめての参加でもみなさん温かく迎えてくれますので、お気軽にお出でください。



【編集・発行】名立まちづくり協議会 会長 三浦 元二

上越市名立区名立大町 200-1 (名立地区公民館内)

担当: 金子 僚子、石井 三千代

☎: 025-537-2182 FAX: 025-546-7041

✉: matikyo-nadati@bz04.plala.or.jp

ホームページ URL: nagatatsu.com